

より良い景観検討のためのカルテ（チェックシート）

記入年月日：令和7年12月26日

チェック担当課：道路整備課

事業の概要		
事業名	都市計画道路見野線道路改良事業	
事業個所・対象地	川西市見野1丁目、2丁目 地内	
事業期間	平成31年3月～令和7年12月	
事業の対象となる 公共施設等	☒ 道路 ☐ 橋梁 ☐ 河川・水路 ☐ 公園・緑地 ☐ 公共建築物等	
事業に含まれる要素 （個別指針より）	☐ 法面・斜面 ☐ 擁壁 ☐ 護岸 ☒ 舗装 ☐ 付属施設（防護柵、公共サイン） ☐ 建築物	
構想・計画段階（各事業共通）		
項目1	景観形成の指針を把握する。	
項目2	共通指針（全体指針A-1～A-5、B-1～B-5）の内、本事業で特に配慮する指針と具体的に配慮する事項を記入する。	
	（例） A-5	（例） 良好な住宅地景観に配慮したデザインを検討する。
	B-1	対象地における景観形成上の不調和を招かないよう、道路占用者（関西電力等）と密に連絡・連携を図り、一体となって景観形成を図る。
	B-3	周辺景観に違和感を与えないよう、施設の配置、意匠等を検討する。

設計・施工段階 / 道路		
基本指針、共通指針、景観類型別指針を踏まえた「より良い景観検討のための景観配慮事項」への対応と、具体的に配慮・検討した内容を記入する。		
✓	より良い景観検討のための配慮事項	配慮・検討した内容
□	住宅地の敷地の緑化に合わせて、沿道の植栽を計画するなど、可能な区間においては緑化修景を図り、住宅地景観との調和に配慮した計画を採る。	(事業対象外)
□	斜面・法面は、緑化可能な勾配や工法採用を検討し、原則として緑化を行うことを検討するなど、緑豊かな住宅地景観に配慮する。 【具体的配慮事項】 緑化修景の採用	(事業対象外)
☑	舗装は、極端に彩度の高い配色やインターロッキング等による過剰なデザイン（パターン柄）を避けるなど、住宅地の落ち着いた景観との調和に配慮した計画を採る。	舗装は、周辺のまち並みと調和するような色彩等を選定し、歩道部は雨水排水処理が速やかに行えるように、透水性舗装を採用した。
□	付属施設は、付属物の数や位置、配置に配慮するなど、落ち着いた住宅地景観の中において煩雑な景観とならないように配慮する。 【具体的配慮事項】 ガードパイプの色彩 グレーベージュ 10YR6.0/1.0 程度	(事業対象外)

維持・管理段階（各事業共通）		
項目 1	景観形成の指針を把握する。	
項目 2	共通指針（全体指針 A-1～A-5、C-1～C-4）の内、本事業で特に配慮する指針と具体的に配慮した（する）内容を記入する。	
	（例） C-3	（例） 当初デザインの意図を踏まえた材料を用いて補修を行う。
	C-4	道路の利用形態や景観等の変化によって材料等を選定し補修を行う。



着手前及び完成写真
着工前
No. 13R



着手前及び完成写真
完成
No. 13R